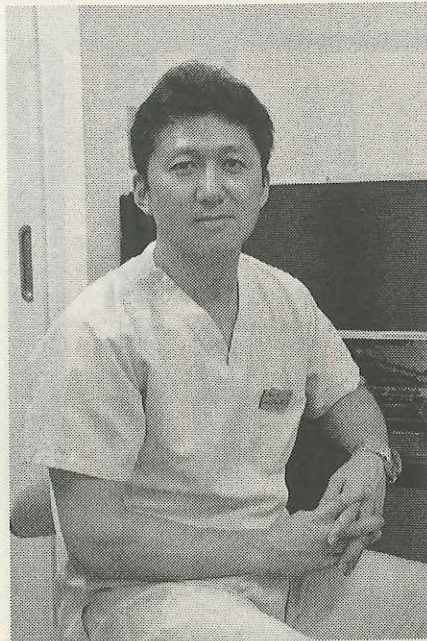




院長
阿保 義久

あばよしひさ●1993年東京大学医学部卒業。同大学医学部附
属病院第2外科、虎ノ門病院麻酔科、三葉病院外科、東京大学医学部
腫瘍外科・血管外科勤務を経て、2000年北青山クリニック開
設。東京大学医学部腫瘍外科・血管外科非常勤講師

保険適用で広がる 負担の少ない治療

下肢の表面の血管が浮き出
る下肢静脈瘤は、一見すると
皮膚の病気のようでもあり、

負担の少ない
下肢静脈瘤の最新治療
レーザー治療や高周波治療の登場で日帰りも可能に

日帰り手術に取り組んで14年。 経験を生かし、一人ひとりに合った 下肢静脈瘤治療を提供する

北青山クリニック

どの科を受診したらよいのか
迷いやすい。この病気の、皮
膚の近くを流れる表在静脈に
ある逆流防止弁という部分が
破損することで引き起こされ
る。血管が瘤状に膨れるのも、
逆流した血液によって静脈が
拡張するからだ。問題のある
静脈の両端を切って抜き取る
ストリッピング手術は、以前
から行われてきた同疾患の根
治療法であり、血管外科がこ
れを担ってきた。

現在ではレーザー治療の進
歩によって、より負担の少な
い治療が選択できる。血管内
レーザー焼灼術が初めて保険
適用となったのは2011年
のこと。採用された980
nmのレーザーは、保険で受
けられるとあって経済的なメ
リットは大きいものの、痛み
や回復の速さに課題を残して
いた。そして2014年5月
からは、1470nmのレー
ザーが保険適用となった。

「980nmのレーザーで
は、実際のところ、痛みを訴
える患者さん多いらしいとい
ました。当院では、痛みの軽
減と早期回復のために2000
nmのレーザー（保険適用
外）による治療を導入し、患
者さん一人ひとりの要望に合
わせた治療を提供してしまし
た。1470nmのレーザー
は両者の中間に位置づけられ
ます」（阿保義久院長）

日帰り手術の実績を生かし
一人ひとりに合った治療を
レーザーが標的とする血管
は、組織のほとんどが水で構
成されており、レーザーの水
吸収率が治療の質に影響する。
1470nmの水吸収率は向
上しているが、2000nm
の水吸収率はこれに比べても
相当に大きい。実際、前者で
は困難な症例が後者によって
難なく解決できることもある
という。また、2000nm
のレーザーは保険適用外なの
だが、保険診療に伴う、複数
の血管の治療を1回の治療で
対応できない、硬化療法など
を併用する必要があることも同
日に行えない、といった制約
を受けずに済む利点もある。

「深部静脈にできた血栓が

INFORMATION
診療科目：外科、血管外科、脳神経外科、消化器外科、
形成外科、内科、消化器内科、循環器内科、
呼吸器内科、皮膚科、婦人科
受付時間：月～金 9:30～18:00 土 9:30～17:00
休診日：日・祝
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 3-7-10 AKERA ビル B1F
TEL.03-5411-3555 FAX.03-5411-5666
http://www.dsurgery.com/
●問い合わせ・相談用 E-mail info@dsurgery.com



理事長・血管外科顧問 重松 宏
しげまつひろし●1972年、東京大
学医学部医学科卒業。日本血管外科
学会名誉会長、日本脈管学会理事長、
国際医療福祉大学教授、山王メディカ
ルセンター血管外科統括部長など



院長 長江 恒幸
ながえつねゆき●1982年、東京医
科大学医学部卒業。同大学外科学第
二講座准教授、東京医科大学茨城医
療センター血管外科科長などを経
て現職

血管診療に特化して 下肢静脈瘤などを治療

都庁前血管外科・循環器内科は、
東京医科大学の血管外科の関連施設
として、血管診療に特化した外来診
療・手術の提供を目指して開院され
たクリニックだ。顧問には同大学の
教授・准教授が揃い、豊富な経験を
生かしつつ、新しい機器を積極的に
活用した治療を提供している。

対象とする疾患は、足の血管が詰
まる閉塞性動脈硬化症や、むくみを
生じるリンパ浮腫などさまざま。中
でも力を入れているのが、足の血管
の弁が壊れ、血液が逆流して瘤を生

じる下肢静脈瘤だ。「見た目の悩み
に加え、足のだるさやむくみ、痒み、
こむら返りなど、本人にとってはつ
らい症状も多いのです。加えて、血
管内に血栓ができる深部静脈血栓
症、その血栓が肺に流れて重篤な
症状を引き起こす肺塞栓症の危険
因子とも考えられており、決して
侮れません」と説明するのは、治療
に携わっている重松宏理事長。提供
している治療も、血管の内側から
原因の血管を閉塞させるレーザー
治療、血管を取り除くストリッ
ピング治療、薬剤で固める硬化療法
など幅広く、症状や患者の希望に
合わせた選択を可能にしている。

負担の少ない下肢静脈瘤治療で 全身の健康への貢献を目指す

都庁前血管外科・循環器内科
東京バスクリニッククリニック「併設」

レーザー治療を 積極的に導入する

同院では、「身体への負担が少な
いことで高齢の方にも行えるほか、
日常生活を制限することもありませ
ん。1週間後には通常通りの運動も
可能です」という利点を持つことか
ら、特にレーザー治療に力を入れて
きた。周辺の組織への影響を抑えた
照射が可能な新型機器を導入し、術
後の痛みや内出血を大きく抑えた治
療を提供。現在も、より細く、血管
内で操作しやすい管を使う機器の治
療を行うなど、さらに新しい機器の
導入や、技術の研鑽に努めている。

また、受診をきっかけとした、他
疾患の早期発見・治療を重松理事長
は訴える。「例えば、閉塞性動脈硬
化症を発症した方は、全身の動脈硬
化を抱えていることが多く、脳卒中・
心筋梗塞を発症しやすくなります」と
、下肢静脈瘤治療を通じて、全身の
健康への貢献も目指している。



診療時間：9:00～11:30 /
13:30～17:30 ※完全予約制
休診日：土・日・祝
〒160-0023
東京都新宿区西新宿 6-6-3
新宿国際ビルディング 新館 6F
TEL.03-5325-6556
http://www.tvclinic.jp/



毎年敬老の日の前日は

心・血管病予防デー



日本心・血管病予防会ホームページ <http://shinkekkan.com/>